

2023年度

科目名称	キャリアデザイン
授業コード	B0222B
英語名称	Career Design II
学期	2023年度前期
単位	2.0
担当教員	石井 由貴 (共通・教職資格系科目・卒業生発行区分)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	感染症や気候変動、AIの登場や働き方の変化など、親世代の時代よりも先行きを見通しづらい現代においては、個々人が自分なりにキャリアを描いて主体的に選択することが必要になる。本講義では、内省および他者との対話を通じた自己理解、および業界研究などを通じた他者理解の上で、具体的な企業等を想定したインターンシップ応募のトレーニングや、社会人としてのマナーを身につけることを目標とする。講師からのレクチャーを踏まえて講義中の個人ワーク、学生同士のディスカッションも行うため、積極的な参加を求める。
科目に関連する実務経験と授業への活用	担当講師 石井由貴は、新卒で(株)リクルートに入社し、約2000人以上の転職希望者の経歴を見、転職活動の支援をしてきた経験を持つ。独立後はワーキングマザーや男性社会人にも多くキャリアコンサルティングを実施しており、また各地の大学にてジェンダーとキャリアをテーマに講座を行なってきた。代表を務めるキャリア戦略カレッジではグループでの対話を通じて自己分析を進めるメソッドを活用している。これらの経験を活かし、実際の採用現場を踏まえたレクチャー、一人一人の主体性を引き出すワークを実施する。
到達目標	カリキュラムポリシー「社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たし、自分らしい生き方を実現するための科目を配置する。」に則り、キャリアを自ら考え主体的に行動する力を身につけること、中でもキャリアデザイン においては基礎的な素養に加え、インターンシップ応募・参加を想定した実践的なスキルを身につけることも目標とする。
計画・内容	<p>第1回 オリエンテーション (講師紹介、授業概要、評価方法など)</p> <p>第2回 キャリアデザインの必要性と意義 (時代背景、デザインするとはどういうことか、主体性についてなど)</p> <p>第3回 働くとは：生涯発達としてのライフキャリアの考え方 (ライフキャリアケースの紹介など)</p> <p>第4回 仕事理解 職種と業種 (社会全体の産業構造を理解する、身近な例から産業全体の状況を推測する)</p> <p>第5回 仕事理解 職業スキル (職種特有のスキル、ポータブルスキルなど)</p> <p>第6回 自己理解 自分の得意・強みを知る (過去の振り返りと言語化)</p> <p>第7回 自己理解 自分の望みを知る (今考える最高の未来を想像して言語化する)</p> <p>第8回 他者理解・自己理解からキャリアプランを描いてみる (自分の好き・得意・やりたいことと社会で求められている仕事を統合してみる) 中間レポート提出</p> <p>第9回 企業からの視点 (求人の見方、企業担当者の本音など)</p> <p>第10回 就職活動のスケジュール管理とうまく進めるコツ (タスク管理、スケジュール管理、ヘルプシーキング)</p> <p>第11回 社会人としてのマナー・一般常識 (身だしなみ、言葉遣い、メール・電話対応、ニュースの読み方など)</p>

2023年度

計画・内容	<p>第12回 将来のキャリア目標と在学中の過ごし方（バックカスティングで、目標から過程を考える方法を身につける）</p> <p>第13回 キャリアデザイン実践（インターンシップ先の定め方、応募種類の準備について）</p> <p>第14回 キャリアデザイン実践（グループ内でプラン発表、フィードバックを得る） 最終レポート</p> <p>第15回 総括と振り返り（全体の総括と最終レポートを元にディスカッション）</p>
授業の進め方	<p>本講義では、講師からのレクチャーに加えて個人でのワーク、グループでのワーク、また全体でのディスカッションなど双方向での学びの機会を作る。講義内および講義後の課題でレクチャーで学んだ事項の理解を深め、実践する。毎回、講義の最後にコメントシートを提出し、出席確認とともに、講義の感想、質問、気づきなどを記入し振り返りの機会とする。</p>
能動的な学びの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・全体を通じて、インプットだけでなくアウトプットの時間を多く持つため、積極的な態度での参加が望まれる ・毎回、グループワークを行い対話を通じて自己理解・他者理解を深める ・グループでのディスカッション内容を全体に向けて発表する機会がある ・随時、講師から学生へのクイズや個別の質問を行う ・授業内でも個人で内省する時間をとり、その内容を隣の人と内容をシェアする時間を取るなどする
授業時間外の学修	<p>予習復習、レポート作成で60時間相当。</p>
教科書・参考書	<p>授業時に資料を配布し、教科書は用いない。参考図書は随時示す。</p>
成績評価方法と基準	<p>各回授業ごとのコメントシート（感想、質問を記入） 35%</p> <p>グループワークでの参加状況 25%</p> <p>中間・期末レポート 40%</p>
課題等に対するフィードバック	<p>毎回の授業の最後にコメントシートを配布し、授業の感想・質問を記入して提出する。コメントシートに書かれた内容について、次回授業の冒頭で取り上げ回答する。</p>
オフィスアワー	<p>講義前・講義後に講義室で対応する。（前後10分程度）</p>
留意事項	
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業の進め方：非対面となった場合は、Zoomを利用して講義、個人ワーク、グループワークを交えて講義を進める。（Zoom ブレークアウトルームを活用予定）</p> <p>成績評価方法と基準：基本的には対面の場合と同様。</p>